

定例教育委員会会議録

令和元年5月28日

境港市定例教育委員会（令和元年5月28日委員会会議録）

招集年月日 令和元年5月28日 15時30分

招集場所 市役所第一会議室

開 会 15時30分 教育長宣言

教育委員会 教育長 松本 敏浩

委 員（職務代理者） 酒井 伊津子

委 員 徳永 由樹 十河 淳 中田 耕治

教育長から説明のため出席を求められた者

教育委員会事務局次長兼

教育総務課長 木村 晋一

教育委員会事務局長 松原 隆

教育総務課長補佐 吉川 秀樹

教育総務課長補佐兼

指導係長 柳楽 力人

学校給食センター所長兼

教育総務課長補佐 松本 昭児

生涯学習課長 黒崎 享

教育総務課管理係長 荒岡 真樹

傍聴者数 なし

会議書記 教育総務課管理係長 荒岡 真樹

提出議案 議案第12号 境港市青少年育成センター運営協議会委員の委嘱について

協議事項 教育委員会の点検・評価について

報告事項 5月の行事報告、6月の行事予定など

【1. 開会】

松本教育長

それでは、ただいまから5月の定例教育委員会を始めます。

【2. 前回議事録承認】

【3. 議事】

松本教育長

議案第12号境港市青少年育成センター運営協議会委員の委嘱について事務局から提案をお願いします。

黒崎課長

議案第12号境港市青少年育成センター運営協議会委員の委嘱についてです。委員の任期は昨年の6月1日から2年間ですが、PTA役員との交代に伴いまして、7人の欠員を補うものです。任期は前任者の残任期期間である令和元年6月1日から令和2年5月31日までです。以上です。

松本教育長

ただいまの説明に関して質問がありませんか。（質問なし）それでは承認ということによろしいですか。（異議なし）議案は以上です。つづきまして協議事項に入ります。

【4・協議事項】

松本教育長

教育委員会の点検・評価について事前に配布しました資料について、質問・意見等ありませんか。

十河委員

学力向上事業・よりよい学級づくり事業でGTETC（スコア型英語テスト）を中学校2・3年生で実施していますが、GTETCは個人の英語における不得意なところが継続的にわかるテストと認識していますが、子どもの英語に関して文部科学省から英語教育実施状況調査が公表されたことについて説明をお願いします。CEFR（外国語のコミュニケーション能力を表す指標）のA1レベル（英検3級程度）を中学校卒業時に、50%到達が目標となっていると思いますが、鳥取県内の中学校3年生は、A1到達が37.1%とということで、先日公表があったと思いますが、境港市はどんな状況でしょうか。今後もGTETCを行っていくのか、英検3級程度に50%到達を目指していくのも一つの考え方かと思います。自治体によっては英検受験に対して補助をおこなうところがあると聞いています。今後、GTETCを続けても子どもの英語能力が向上すると思

いますが、英検受験の取り組みとか、受験の補助なども学力向上につながるのではないかと思います、いかがでしょうか。

松原事務局長

英語力を客観的に判断するものとして、英検等がありますが、さらに「聞く」「読む」「書く」「話す」の4領域が求められていくということで境港市ではGTECを採用しています。さまざまな検査がありますが、経年比較ができるのと個人としてどれくらい伸びてきたのかということや、市全体としてどのくらい伸びてきたのか、逆につまづきの多い所も調査で分かりますので、そのあたりを分析しながら中学校や小学校にも還元していく考えで市としては取り組んでいます。

松本教育長

国が英検3級を目標として出しましたが、これを受けて鳥取県がすべての中学校でテストの実施を検討して、予算要求に向かっています。予算化されたら、県が実施をすることになると思います。県で予算化できなかった際には県の方から市の教育委員会に協議があるかと思っています。唐突に国が目標値を出したので、何らかの対応をしなければならないと考えています。GTECはこれからも境港市の特徴として継続していきたいと思っています。英検とGTECを並行して子どもたちに機会を与えていくこともそれほど負担は大きくないと思っていますので、県の動向を見ながら進めていきたいと思っています。先日、富山県で開催された全国都市教育長協議会に参加しました。その中で、各分野の事例発表が行われ、英語教育に関しては、奈良県生駒市が発表しました。ここは大阪からの通勤圏内ということもあって、最近人口がどんどん増えているし、教育にも力を入れています。そこの英語教育は、小学校1年生から外国語活動をしていました。しかも、自分たち独自のテキストを作って、学級担任とALTがティーム・ティーチングで授業をしていました。非常に活気のある授業をして、子どもたちが楽しそうに外国語活動の授業に取り組んでいる様子でした。境港市はこれからどうすべきかと考えました。少なくとも小学校3・4年生の外国語活動も境港市独自のテキストがあると担任の先生がもう少し授業がやりやすいのではないかと思います。今は、先生方が工夫をしながら独自の授業展開をしていますが、それを助けるような方法が市の教育委員会でできないかということこれから研究していかなければならないと思います。そのほか、意見等

ありませんか。

酒井委員

市内一斉学校公開で課題として、子どもたちの学校での様子や学校の取組を発信する工夫が必要であるとしてありますが、コミュニティ・スクールの導入ということがあるので地域への発信がとても大事になってくると思います。毎月学校だよりが回覧板に挟まれて回っていますが、地区によっては公民館報に学校の様子を知らせるコーナーがあります。回覧板は次に回さないといけないので、見過ごしてしまうことがあります。市報と一緒に配布される公民館報に毎月ではなくても学校の記事が掲載されていると地域の皆さんにも様子がわかるのではないかと思います。

松原事務局長

学校だよりで各自治会に情報発信をしていますが、委員のご意見を参考にしながら学校と協議をしたいと思います。

松本教育長

学校の様子を地域の方に知っていただく方法を今の方法でいいのかを議論しなければなりません。そのほかご意見等ありませんか。

中田委員

子どもが卒業したりして、学校から離れてしまうと学校公開に行っていないのかわからなくなってしまいます。どうやって行ったらいいのかと思うとなかなか行きづらくなってしまいます。学校公開に参加しやすい広報を考えていただきたいと思います。以前に、大きな事故や事件があったときの閉鎖的な学校というイメージが残っていて、学校公開があると知っていても行ってもいいか不安があると思います。学校公開に参加しやすい環境づくりをお願いします。

松本教育長

地域総がかりで子どもを育てるという方向に向かっているので、地域の方が学校に行きやすい環境を作っていかなければならないと思います。コミュニティ・スクールを進める中で、環境が変わってくるという期待感がありますが、こちらからも仕組みづくりをしていかなければならないと思います。先日、県教育委員会主催の市町村教育委員会の社会教育担当者会がありました。地域そのものを元気にさせるという意味で社会教育は重要であるが、社会教育に携わっている人の高齢化が顕著で、

社会教育のリーダー育成がほとんど行われていないという声が市町村から出てきました。境港市も同様の状況かと思えます。コミュニティ・スクールを進める中で、社会教育の力が重要になってきます。社会教育と学校教育の連携の必要性が叫ばれていましたが、なかなかうまくできていない状況です。それを計画的、組織的、持続的に進めていくのがコミュニティ・スクールだと思います。日本の文化は今まで、親が子に子が孫にと受け継がれていましたが、現在は、高齢者層が社会教育に携わっていても親世代は忙しくてなかなか関心を持ってもらえない。コミュニティ・スクールを進める中で、地域に出かけると高齢者層にかかわっていただき、そこで子どもたちとの学習の場が作られています。そうすると子どもがかかわることに関しては、親世代は関心を持つので、そこでどうやってかかわってもらうのが大事になります。そういったことも考えながら進めていきたいと思えます。そのほか質問等ありませんか。

中田委員

職場体験学習の検討事項として、天候の悪化に対する備えの指導と、移動時・活動時の安全の徹底とありますが、これは職場体験に限らず常時必要だと思います。普段から対応できるように指導することが必要だと思います。

松原事務局長

通常の授業中の移動は校区内に限られますが、職場体験学習の場合は校区を越えて事業所に行くことがありますので、移動時の安全に関して指導が必要になります。また、以前に悪天候の中、指定の時間に行かないといけないということで移動したということもありました。委員が言われるとおり、臨機応変に自分の身は自分で守ることが一番大事だと思います。

中田委員

今の子どもたちは、経験も少なく判断ができないということもありますが、こういうところはこうするというのを教えるのではなく、こういうことが起こったらどうしたらいいか考えるということが大事ではないかと思えます。

松本教育長

東日本大震災の際にも、自分たちで判断ができた子どもたちが助かっています。非常に大切な指摘だと思います。そのほか質問等ありませんか。

十河委員 職場体験学習に私の娘も参加し、さまざまな経験をさせてもらいました。課題・問題点に、体験活動を、個々の生徒のキャリア教育にどのように活かしていくかについて、昨年同様十分に検討されていないとありますが、体験を終えて子どもたちが持っている熱い思いを吸い上げて、子どもたち今後どう活かしていくかを十分検討していただき、次につなげてほしいと思います。

松本教育長 次回の校長会でご指摘いただいたことは伝えたいと思います。そのほか質問等ありませんか。

酒井委員 教職員の研修活動の実施に関して、先日、学校訪問へ一緒に行きましたが、若い先生が増えてきているのを感じました。校外でのいろいろな研修があると思いますが、校内での指導体制がとても大事になってくると思います。学校でもしっかり取り組んでいただきたいと思います。小・中学校就学援助費に関しては、学識経験者による指摘・助言の中に支援が必要な家庭に対して総合的な子育て支援を各関係課と協力しながら拡充をしてほしいとありますが、境港市は、子育て支援課との連携がとれており、さまざまな支援が必要な家庭に対して手厚く支援されていると感じています。今後も、さらに充実していただきたいと思います。

松本教育長 不登校の数が徐々に減ってきているのには、学校のがんばりもありますが、家庭支援の部分も非常に大きいと思います。境港市の強みととらえてこれからもがんばっていきたいと思います。そのほか質問等ありませんか。（質問なし）続いて報告事項に入ります。

【5・報告事項】

《教育総務課 生涯学習課 行事等報告》

松本教育長 ただいまの報告について質問等ありませんか。

十河委員 渡公民館で図書館の本が貸し借りできるようになるということですが、今後すべての公民館でも利用できるようになりますか。

黒崎課長 渡公民館で実施してみて、その感触を見極めながら今後の実施を検討したいと思います。境公民館と上道公民館は市民図書館に近いので必要はないと思っています。市民図書館から離れた公民館で移動図書館的に実施を検討しています。

十河委員 期間はどのくらいの予定ですか。

黒崎課長 1カ月ぐらいを想定しています。利用者のリクエストを聞きながら図書の入れ替えをしたいと思います。

松本教育長 念願の図書館と公民館との連携の第一歩が踏めたことをうれしく思っています。図書館では、境港市のどの地域の人がどのくらい図書館に来て本を借りているかというデータがあります。図書館をよく利用している地域とそうでない地域があります。境小学校校区でも、湊町、馬場崎町、元町の利用者は多く、圧倒的に多いのは上道地区です。栄町や岬町になるとほとんど利用者がありません。距離的なハンディキャップがあるので、公民館で図書の貸し借りができるのは市民サービスとして大事なことだと思います。先日の運動会の時に、渡地区・外江地区ともに100人を超える中学生がボランティアに参加しました。この中学生の動きは本当にほめたいと思いますが、それ以上に100人来た中学生ボランティアを使っただけで大会運営に頭が下がります。ボランティアに参加し甲斐があり、皆さん生き生きとした顔で中学生が活躍していました。こういったことで地域貢献をする喜びを感じていることを実感しました。感謝しています。そのほか質問等ありませんか。（質問なし）

【5. 閉会】

松本教育長 それでは議題は終了しました。本日の定例委員会は閉会といたします。ありがとうございました。